

令和7年度 実務経験のある教員等による授業科目一覧および当該科目担当教員実務経験一覧 鍼灸学科

氏名	科目区分	必修選択の別	科目名	授業形式	設定学年	設定時期	時間数	単位数	内容	経歴		役職	業務内容・専門分野等	免許・資格	
										年月	職歴 (一部抜粋)			年月	免許・資格名 (一部抜粋)
櫻井迪代	専門	必修	解剖学 I a	講義	第1学年	前期	40	2	組織と骨の名称	令和1年6月～現在	迪鍼灸院開業	院長(開設者)	施術所において、鍼灸師としてはり治療、きゅう治療を行う	令和1年	はり師免許
	専門	必修	臨床医学総論 I	講義	第2学年	前期	40	2	臨床医学の基礎、 症状、検査法	令和1年8月～現在	迪整体院開業	院長(開設者)	東京にて整体をメインとした治療を行いながら全国に出張治療もしている。	令和1年	きゅう師免許
山崎 康平	専門	必修	東洋医学概論 I	講義	第1学年	前期	40	2	気血津液精、陰陽、臓腑の生理・病理	平成27年5月～現在	ユリ治療室		施術所において、鍼灸師として東洋医学理論に基づいたはり治療、きゅう治療を行う	平成27年4月	はり師免許師
	専門	必修	東洋医学臨床論 II	講義	第3学年	前期	40	2	中医学・弁証論治	平成29年4月～現在	おおもり東口はりきゅう治療室		施術所において、鍼灸師として東洋医学理論に基づいたはり治療、きゅう治療を行う	平成27年4月	きゅう師免許
														平成27年4月	あん摩マッサージ指圧師免許
鬼頭 健介	基礎	必修	スポーツ・健康概論 II	講義	第2学年	前期	40	2	トレーニング指導、 運動心理	平成14年4月～平成15年9月	愛知県立安城南高等学校 硬式野球部トレーナー		高校野球部トレーナーとして、コンディショニング管理、リハビリプログラムの作成、リハビリ業務を行う	平成12年3月	中学校・高等学校教諭1種免許状(保健体育)
										平成15年10月～平成30年12月	株式会社 読売巨人軍トレーナー		巨人軍トレーナーとして、コンディショニング管理、リハビリプログラムの作成、リハビリ業務を行う	平成15年6月	はり師免許師
														平成15年6月	きゅう師免許
														平成15年6月	あん摩マッサージ指圧師免許
合計							240	10							

授業要項及び授業計画書

課程	医療専門課程	担当学科	鍼灸	担当学年	2年
科目名	スポーツ・健康概論Ⅱ	授業方法	講義	講師名	鬼頭健介
授業目標	将来、医療従事者としてスポーツ現場に関わった際のトレーニング方法や、実際の臨床で起こり得る場面で役に立つ知識を身につける。グループワークの中で発表の準備を通じて、より深い知識を身につける。				
実務経験のある教員等による授業科目	平成15年10月～平成30年12月まで巨人軍トレーナーとして、コンディショニング管理、リハビリプログラムの作成、リハビリ業務を行う。実務経験を生かし、スポーツ・健康概論の授業を行う。				
授業内容及び進度	回数	項目・内容			
	1	ガイダンス/グループワークの説明			
	2	体力学総論			
	3	対象と目的に応じた栄養摂取			
	4	運動と栄養の基礎理論			
	5	運動と心理 基礎理論			
	6	救急救命法			
	7	スポーツ傷害			
	8	スポーツバイオメカニクス			
	9	前半まとめ			
	10	グループワーク			
	11	グループワーク発表/子どものスポーツ			
	12	グループワーク発表/女性アスリート			
	13	グループワーク発表/プロテイン			
	14	自重トレ・チューブエクササイズ①			
	15	自重トレ・チューブエクササイズ②			
	16	運動学習と指導法			
	17	総復習			
	18	確認試験			
	19	試験解説・ポイント説明・おさらい			
	20	総括			
成績評価の方法		該当する項目の□にチェックをしてください。(複数可)			評価割合
	定期試験 評価法	<input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験 / <input type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> その他()			7割
	定期試験 外評価法	<input type="checkbox"/> 小テスト / <input type="checkbox"/> 中間テスト / <input checked="" type="checkbox"/> 発表/ <input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業態度 / その他()			3割
基準	80点以上A、70点以上80点未満B、60点以上70点未満Cとし、60点未満が不合格。				
参考図書	教科書・参考書名	JATIトレーニング指導者テキスト理論編・実践編			
	配布資料の有無	有・無			

※その他、レポートや対外活動等を評価に加味する場合がある

授業要項及び授業計画書

課程	医療専門課程	担当学科	鍼灸	担当学年	1年
科目名	解剖学 I a	授業方法	講義	講師名	櫻井 迪代
授業目標	鍼灸師として西洋医学的に人体の評価、触診、病気を理解する際に必要な知識を習得し臨床に活かせるようにする。また、3年間の学習の基礎を整える。				
実務経験のある教員等による授業科目	鍼灸院を開業。迪鍼灸院の医院長として5年の臨床経験を積む。その中で得た触診法、筋肉や骨の位置の捉え方など実務経験を生かし、解剖学の授業を行う。				
授業内容及び進度	回数	項目・内容			
	1	オリエンテーション(今から学習すること全体を捉えよう)・第16章 運動器系 I 総論			
	2	第16章 運動器系 I 総論	P160-168		
	3	第16章 運動器系 II 全人の骨格 脊柱の解剖	P169-176		
	4	〃			
	5	〃			
	6	〃 下肢の解剖 P187-198			
	7	〃			
	8	〃			
	9	〃 復習・テストのポイント確認			
	10	中間テスト			
	11	〃 上肢の解剖 P179-187			
	12	〃			
	13	〃			
	14	〃 頭蓋骨の解剖 P198-210			
	15	〃			
	16	〃			
	17	〃 復習・テストのポイント確認			
	18	後期試験(筆記試験)			
	19	解説・採点のポイントを説明・前期の復習			
	20	〃			
成績評価の方法			該当する項目の□にチェックをしてください。(複数可)		評価割合
	定期試験 評価法	<input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験 / <input type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> その他()			6割
	定期試験 外評価法	<input checked="" type="checkbox"/> 小テスト / <input checked="" type="checkbox"/> 中間テスト / <input type="checkbox"/> 発表 <input type="checkbox"/> 出席状況 <input type="checkbox"/> 授業態度 /			4割
基準	80点以上をA、70点以上80点未満をB、60点以上70点未満をCとし、60点未満を不合格とする。				
参考図書	教科書・参考書名				
	配布資料の有無	有・無			

※その他、レポートや対外活動等を評価に加味する場合がある

授業要項及び授業計画書

課程	医療専門課程	担当学科	鍼灸	担当学年	1年
科目名	東洋医学概論 I	授業方法	講義	講師名	山崎 康平
授業目標	東洋医学の思想・世界観と人体との相関関係を理解する。また、気血津液精、陰陽、臓腑などの東洋医学に特有な人体の捉え方を学び、それらの生理と病理を理論立てて学ぶことで、弁証論治を行う際に活用できる形での知識の習得を目指す。				
実務経験のある教員等による授業科目	平成29年4月より鍼灸師としておおもり東口はりきゅう治療室にて東洋医学理論に基づいたはり治療、きゅう治療を行う。実務経験を生かし、東洋医学概論の授業を行う。				
授業内容及び進度	回数	項目・内容			
	1	ガイダンス			
	2	第1章 東洋医学の特徴(P2~36)			
	3	第2章 生理と病理(P37~180) ①生理物質:気(P42~50)			
	4	②生理物質:血(P50~53)			
	5	③生理物質:津液(54~58)			
	6	④生理物質:精(P38~42)			
	7	⑤生理物質の相互関係(P58~62)			
	8	⑥神(P62~68)			
	9	⑦陰陽学説、人体における陰陽(P68~73、182~187)			
	10	⑧五行学説、蔵象(P74~77、188~200)			
	11	⑨五臓:肝系統(P77~87)			
	12	⑩五臓:心系統(P87~97)			
	13	⑪五臓:脾系統(P97~106)			
	14	⑫五臓:肺系統(P106~115)			
	15	⑬五臓:腎系統、三焦(P115~127)			
	16	⑭五臓の相互関係(P127~142)			
	17	まとめ			
	18	前期試験(筆記試験)			
	19	試験解説・採点のポイントを説明			
20	総括				
成績評価の方法		該当する項目の□にチェックをしてください。(複数可)			評価割合
	定期試験 評価法	<input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験 / <input type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> その他()			8割
	定期試験 外評価法	<input checked="" type="checkbox"/> 小テスト / <input type="checkbox"/> 中間テスト / <input type="checkbox"/> 発表 / <input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業態度(減点方式) / その他()			2割
基準	80点以上をA、70点以上80点未満をB、60点以上70点未満をCとし、60点未満を不合格とする。				
参考図書	教科書・参考書名	東洋療法学校協会『新版 東洋医学概論』			
	配布資料の有無	有			

※その他、レポートや対外活動等を評価に加味する場合がある

授業要項及び授業計画書

課程	医療専門課程	担当学科	鍼灸	担当学年	3年
科目名	東洋医学臨床論Ⅱ	授業方法	講義	講師名	山崎 康平
授業目標	東洋医学臨床論Ⅰに引き続き、気血津液精、陰陽、臓腑の生理・病理などの東洋医学的な基礎知識、および四診情報の解釈の理論を応用しながら、具体的な症例に対し弁証論治の訓練を行い、臨床で活用可能な知識を習得する。				
実務経験のある教員等による授業科目	平成29年4月より鍼灸師としておおもり東口はりきゅう治療室にて東洋医学理論に基づいたはり治療、きゅう治療を行う。実務経験を生かし、東洋医学臨床論の授業を行う。				
授業内容及び進度	回数	項目・内容			
	1	ガイダンス 咳嗽と咯痰			
	2	呼吸困難			
	3	鼻閉・鼻汁			
	4	脱毛症			
	5	耳鳴り・難聴			
	6	排尿障害			
	7	ED（勃起障害）			
	8	疲労と倦怠感			
	9	発熱、のぼせと冷え			
	10	浮腫			
	11	掻痒感（痒み）・肌荒れ・発疹			
	12	顔面麻痺			
	13	歩行異常			
	14	口渇・出血傾向			
	15	月経異常・性器出血など			
	16	小児特有の症候・認知症			
	17	まとめ			
	18	前期試験（筆記試験）			
	19	試験解説・採点のポイントを説明			
	20	総括			
成績評価の方法		該当する項目の□にチェックをしてください。（複数可）			評価割合
	定期試験 評価法	<input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験 / <input type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> その他（ ）			9割
	定期試験 外評価法	<input type="checkbox"/> 小テスト / <input type="checkbox"/> 中間テスト / <input type="checkbox"/> 発表 / <input checked="" type="checkbox"/> 出席状況 <input checked="" type="checkbox"/> 授業態度（減点方式） / その他（ ）			1割
基準	80点以上をA、70点以上80点未満をB、60点以上70点未満をCとし、60点未満を不合格とする。				
参考図書	教科書・参考書名	『新版 東洋医学概論』、『新版 東洋医学臨床論（はりきゅう編）』			
	配布資料の有無	有			

※その他、レポートや対外活動等を評価に加味する場合がある

授業要項及び授業計画書

課程	医療専門課程	担当学科	鍼灸	担当学年	2年
科目名	臨床医学総論 I	授業方法	講義	講師名	櫻井 迪代
授業目標	臨床における症状や検査法の基礎を学び、臨床においてのリスク回避や適切な対応ができるようにする。				
実務経験のある教員等による授業科目	鍼灸院を開業。迪鍼灸院の医院長として5年の臨床経験を積む。その中で得た臨床医学の症状、検査法、評価法など実務経験を生かし、授業を行う。				
授業内容及び進度	回数	項目・内容			
	1	第3章 生命徴候バイタルサインの診察 (p29-37)			
	2	第3章 生命徴候バイタルサインの診察 (p29-37)			
	3	第4章 全身の診察 1 顔貌・顔色 2 精神状態 (p42-45)			
	4	" 3 言語 4 身体測定 (p46-49)			
	5	" 5 体型 6 栄養状態 7 姿勢と体位 (p51-54)			
	6	" 8 歩行 (p54-56)			
	7	" 9 皮膚、粘膜、皮下組織 (p57-64)			
	8	" 10 爪の状態、リンパ節、その他の一般状態 (p65-69)			
	9	" 復習・テストのポイント確認			
	10	中間テスト			
	11	第5章 局所の診察 3 眼 4 鼻 5 耳 (p74-78)			
	12	" 6 口腔 7 頸部 (p78-82)			
	13	" 8 胸部 9 乳房 (p84-85)			
	14	" 13 背部 14 四肢 (p98-103)			
	15	第6章 神経系の診察	感覚検査法/反射検査	P105-122	
	16	"	脳神経/髄膜刺激症状/その他	P123-127	
	17	復習・テストのポイント確認			
	18	前期試験(筆記試験)			
	19	第7章 運動機能検査	運動麻痺/筋肉の異常/不随意運動/協調運動	P129-139	
	20	第5章 局所の診察	心臓/腹部/背部/四肢	P87-104	
成績評価の方法			該当する項目の□にチェックをしてください。(複数可)		評価割合
	定期試験 評価法	<input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験 / <input type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> その他()		6割	
	定期試験 外評価法	<input checked="" type="checkbox"/> 小テスト / <input checked="" type="checkbox"/> 中間テスト / <input type="checkbox"/> 発表 <input type="checkbox"/> 出席状況 <input type="checkbox"/> 授業態度 /		4割	
基準	80点以上をA、70点以上80点未満をB、60点以上70点未満をCとし、60点未満を不合格とする。				
参考図書	教科書・参考書名				
	配布資料の有無		有・無		

※その他、レポートや対外活動等を評価に加味する場合がある

客観的な指標の算出方法						
履修科目の成績評価を点数化し、全科目の合計点の平均を算出する (100点満点で点数化)						
学科名	鍼灸学科	学年	1	学生数	30	
成績の分布						
指標の数値	~50点	50	60	70	80	90
		~60点	~70点	~80点	~90点	~100点
人数	0	0	1	5	10	14
下位1/4に該当する人数 7人						
下位1/4に該当する指標の数値 80.1点以下						